

# 堆肥入りの複合肥料で農家を支援します

## コンソーシアム方式で開発 名称は『エコぷらす』



資材や肥料の高騰が続く中、畜産地帯である管内の畜産排泄物が有効活用され、肥料のコストダウンにつながればと、コンソーシアム方式で「堆肥入り複合肥料」の検討会や栽培試験を進めてきました。3月に完成しましたので4月6日、パシオンで肥料のお披露目会を開きました。

菊池地域管内の堆肥を活用した複合肥料で、名称は「エコぷらす」。作物や土壌の条件により選べるよう、配合を変えた4種類を開発しました。慣行と比べ施肥コストを約10%削減でき、環境保全型農業にもつながります。5月1日よりJA菊池資材店舗での先行販売を始めています。

九州沖縄農業研究センター、熊本県、JA全農、JA熊本経済連、肥料メーカー片倉コープアグリ(株)と検討会や栽培試験を重ね、ゴボウ、ニンジン、スイカ、カスミソウ、米、麦などで、慣行区と試験区での比較栽培も行いました。

肥料はペレット状と粒状で、肥料散布機械のライムソーやブロードキャスターで散布できる形状となっています。対象品目は試験の他にアスパラガス、メロン、茶、露地ショウガなどにも広げていく予定です。

ペレット堆肥製造には期間を要するため、コンソーシアムで乾燥時間短縮のための技術開発も進めているところです。

※農林水産省では「みどりの食料システム戦略」を策定し、化学肥料や化学農薬の使用量低減を図りながら農業の生産力向上と持続性の両立を示している。  
 ※コンソーシアムとは、共通の目的を持つ組織が協力するために結成した共同体です。



14-5-5(粒状) 12-8-3(ペレット状)



8-4-3(ペレット状) 12-1-1(ペレット状)